

GESSHIN 2

2026
Feb.

Governors Monthly Letter

Vol.8

2025-2026 Rotary International District2630

平和構築と紛争予防月間



※なばなの里イルミネーション

CONTENTS

平和構築と紛争予防月間	2
活動事業報告	4
第2630地区 会員数報告	10
第2630地区 会員動静報告	11

Rotary
D2630



**UNITE
FOR
GOOD**



2025-2026 年度
国際ロータリー第2630 地区ガバナー

玉野 英美(桑名北RC)

ロータリー創立記念日・「平和構築と紛争予防月間」によせて

寒さの厳しかった冬も少しずつ和らぎ、梅のつぼみがふくらみ始めるなど、春の訪れを感じる季節となりました。寒さが苦手な私にとって、暖かな春の到来が待ち遠しく感じられます。

さて、1905年2月23日は、ロータリーの創設者ポール・ハリスが3人の友人とともに初めて会合を開いた日です。この日を記念する創立記念日は、「世界理解と平和の日 (World Understanding and Peace Day)」として定められています。各クラブはこの日を中心に、国際理解や友情、そして平和に対するロータリーの献身をあらためて確認し、強調することが求められています。さらに、理事会は2月23日からの1週間を「世界理解と平和週間」とし、奉仕活動の意義を広く発信することを決議しています。

また、国際ロータリーでは2月を「平和構築と紛争予防」月間と定めています。しかしながら、2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻は、いまだ終結しておらず、すでに1万4千人以上もの尊い命が失われています。こうした現実を前に、平和の大切さをあらためて深く考えさせられます。

私たちロータリアンは、地域社会で人々が力を合わせて平和を築くことが、やがて世界へと広がる大きな力になると信じています。ロータリーは奉仕プロジェクトや平和フェロー、奨学生への支援を通じて、貧困や差別、民族間の対立、教育機会の不足、資源の不平等といった、紛争の根底にある課題に向き合い、行動を続けています。

また、人道支援活動を通じて、紛争や自然災害で被害を受けた地域の復興や安定にも貢献しています。医療支援や安全な水の供給、インフラの再建など、人々の生活基盤を整える取り組みは、単なる一時的な支援ではなく、地域の人々が自立し、持続可能な社会を築くための土台づくりを目指しています。さらに、平和を維持するためには経済的な安定も欠かせないことから、ロータリークラブは多方面にわたる支援を行っています。

平和は一朝一夕に実現するものではありません。しかし、私たち一人ひとりが関心を持ち、小さな行動を積み重ねることで、より平和な社会へと近づくことができます。地域のボランティア活動への参加や、異なる文化や価値観を持つ人々との対話を深めることも、平和構築への大切な一歩です。ロータリークラブが実施するさまざまなプロジェクトに参加することも、その一つだと思います。この機会に、私たちに何ができるのかをあらためて考え、日常の中で実践していくことが大切です。世界のどこかで起きている紛争を決して他人事にせず、少しでも平和の実現に向けて行動を起こすことが、持続可能な平和へとつながっていきます。

これからも教育支援活動をはじめとするさまざまな取り組みを通じて、より良い社会を築いていきましょう。私たち一人ひとりの行動が世界の平和につながることを信じ、共に未来を創っていききたいと思います。



2025-2026 年度
奉仕プロジェクト部門委員会 委員長

太田正隆(松阪山桜RC)

平和構築と紛争予防月間に寄せて

今月は、“平和構築と紛争予防”月間という事で、もう一度、平和である事の大切さについて考えてみたいと思います。

誰も平和である事が嫌な人はいません。世界中全ての人が平和で有る事を願っているのは間違いの無い事です。しかし、有史以降、世界中で紛争の無い期間は一日も有りませんでした。

そこで、漠然と平和や紛争の無い世界について考えようとしても、問題が大きすぎて、政治の指導者でも無い我々に、何ができるのか、また、何をしなければいけないのかを考える事も不可能と思われる。

そこで、最近話題になっているお話について思い起こしてみたいと思います。それは、1945年に、広島に落下された原子爆弾を、6歳の時に体験した、中沢啓治が、彼の被爆体験を基に、漫画に描いて出版された、「はだしのゲン」という物語について考えてみたいと思います。被爆国民である我々なら、写真であるとか、物語や報道を何度も見せられているので、その悲惨さは記憶から離れない、二度と有ってはいけない事と考える事は容易です。

この物語が、何カ国語にも翻訳されて、アメリカを始め世界の言葉で読まれるようになり、言葉ばかりではなく、画像として伝えられた時、それまで、日本は真珠湾を急襲したから、そのしっぺ返しに原爆が落とされても仕方がない、或いは、原爆を落としたから終戦も早く終わったんじゃないか等、肯定的な意見を持った人達も少なく無かったと言われていました。

真に、言葉だけでは、深い意味合いは伝わらないが、描かれている絵から、真実を感じ取り、戦争の現実、悲惨さや人間社会に及ぼす悪弊を知り、多くの人に訴えるために反戦運動に参加して、デモが繰り広げられる様になったと言われていました。

戦争に負けた人達にとっては、何年たっても悲惨な思い出であったり、家族を戦争で亡くしたりしているので、社会の負のイメージが強いのは分かりますが、勝った国においても、反戦デモが繰り広げられているようになった現実を見れば、誰をも悲惨な状況に貶めるのは、やはり紛争から生じた戦争なのです。

財団の創設以来、ロータリークラブは、ポリオ根絶の為に、122 カ国、20億人以上 の子供に、ワクチンを投与し、700億円以上の資金を提供して、顕著な成果を上げポリオの根絶にあと一步の所まで来ています。

この事に関しても、大きな問題が起きています。それはパキスタン、アフガニスタンなどでは、未だに紛争が収まっていないのは皆さん周知の事です。そのために、夫々の国において、人口動態の把握ができない訳で、その事により、ワクチン接種の正確な名簿を作る事が出来ず、大きな障害になり、根絶に至っていません。ポリオというウイルスは、人間にしか感染されない病気なので、一旦人間の伝染経路から根絶されれば、この世の中から消し去ることができる病気なのです。あと少し頑張って終焉を見届けたいものです。

人類にとって“最高の財産は平和”と言われています。平和でない状況は、経済的な弱者は更に苦しみ、生活に追い込まれてしまいます。私達は次の世代に生きる人達の為にも、この世界に平和と、安全で健康に過ごせる状況を作って行かねばなりません。ジョン・レノンが1967年に作った曲にも“All you need is Love”というのが有ります。お互いに理解し合い、助け合ってこそ、隣人を大切に思う、思いやりの心が芽生えるのではないのでしょうか。

また、平和を頭の中に思い描くだけでは現実は何も変わりません。実際に行動して、少しでも早く確実に平和な世界を取り戻す事が何よりも大切です。

一人一人は、小さな行動に過ぎないかもしれませんが、100万人の会員が、同じ信念をもって行動すれば、その効果は計り知れないものに成る筈です。

ロータリーはその為に存在すると言っても過言ではないように思います。

インターアクト三重県グループ協議会

鈴鹿ロータリークラブ インターアクト実行委員長 松蔭 康博(鈴鹿RC)

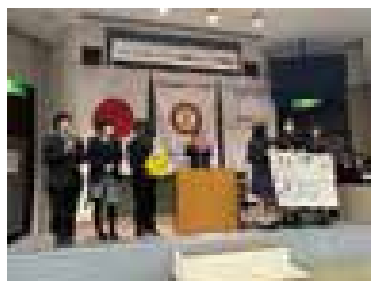
日時:2025年11月16日(日) 10:00 ~ 15:20

開催場所:鈴鹿大学 国際文化ホール・食堂

参加者数:インターアクター 107名、顧問教師21名、ロータリアン15名

本大会は飯野高校がホスト高校となり、鈴鹿ロータリークラブがスポンサークラブとして開催しました。飯野高等学校は約7割の生徒が外国にルーツがあり、全校生徒がインターアクトクラブに登録し活動しています。特徴的な活動として、F1グランプリの際に外国人観戦者に対応する通訳ボランティアに取り組んでいます。

本大会のコンセプトは、飯野高校の実行委員会メンバーで話し合い『参加してくれるインターアクターが楽しく交流が深まる時間にしよう』と決めてくれました。大会当日は空気の澄んだ爽やかな秋晴れとなり、セレモニーの後、交流プログラムを実施しました。各高校混在した18グループに分かれ、それぞれに設定された18の国の歴史や様々な文化、また流行や習慣など様々な情報をスマホで調べ



て制作していききました。ポスターが完成すると、参加者全員でポスター観覧を行い、参加者全員が気に入ったグループへGoogleフォームから投票をしました。集計はすぐにできるので、投票後に行われた閉会式において上位3グループを表彰しプログラムを終えました。

今回、飯野高等学校から参加した35名の大半が外国にルーツを持っており、またポスター制作で他国の文化や様々な価値に触れたことで国際理解の面でも印象に残る大会となったのではないかと感じています。顧問教員の皆様、各地スポンサーRCの皆様にも多数参加をいただき、投票という形で参加もしていただきました。皆様のご協力のもと無事に大会を終えることができ、心からの御礼を申し上げご報告いたします。ありがとうございました。



インターアクト飛騨・中濃・東濃協議会

高山ロータリークラブ 会長 佐藤 祐介(高山RC)

2025年12月7日(日)、飛騨高山ひだホテルプラザにおいて、第39回インターアクト飛騨・中濃・東濃グループ協議会を開催いたしました。

私共、高山ロータリークラブは、今年度、創立70周年を迎えました。今回ホストを務められる斐太高校インターアクトクラブは、高山ロータリークラブの創立から9年後の1964年に創立され、当クラブと61年の長きにわたり奉仕活動・国際交流に取り組んでおります。



協議会では、歴史ある町並みと文化を感じていただきながら、日頃の奉仕活動・国際交流の活動報告をしました。学びと交流と親睦を図り、私たちの地域と日本の素晴らしさを再確認し、みなさんがインターアクターとして誇りを持ち、国際交流に、奉仕活動に、さらなる活動を推進されることをテーマとして開催いたしました。

午前中、各校ごとに高山の古い町並みを散策。多くの海外の観光客で賑わう飛騨の魅力を体験。お昼前にホテルに戻り、昼食後12時45分に点鐘。丸テーブルで各校バラバラの席配置にして、より交流が深めていただける環境を作り、第一部、飛騨にちなんだクイズゲームでスタートしました。

本日初めて合うインターアクターのみなさんが自然に打ち解け話し合い一喜一憂する姿が印象的でした。



第二部は、パワーポイントを使い各校の活動報告。そして第三部、高山ロータリークラブ70周年記念事業として、飛騨高山ご出身で、今話題の映画『国宝』で振付指導をされた舞踊家・振付師の谷口裕和さんの講演会を、若手歌舞伎役者の片岡千之助さん、そして元NHKのアナウンサーでもあり古典芸能解説者の葛西聖司さんをお招きし、この協議会参加者限定で公演会、演舞を開催いたしました。

インターアクターのみなさんは、普段触れることのできない本物の伝統芸能を直に体験され、かけがえない時間になったと確信しております。

インターアクト西濃協議会

羽島ロータリークラブ 会長 安藤 賢治(羽島RC)

事業概要

- ・事業名：第2630地区 インターアクト (IA) 地区グループ協議会 主催・運営
- ・開催日：12月7日(日)
- ・会場：不二羽島文化センター
- ・ホストクラブ：羽島ロータリークラブ
- ・提唱校：岐阜県立羽島北高等学校 インターアクトクラブ

当クラブによるインターアクトクラブ(以下、IAC)設立から6年という節目を迎え、次世代を担うリーダー育成の場として、初めて地区グループ協議会を主催いたしました。全校生徒がIAC会員である羽島北高等学校の特性を活かし、生徒たちが主体的に企画・運営に関わることで、奉仕の精神と組織運営能力を養うことを目的としました。



開催テーマの決定後、有志の生徒が中心となり準備委員会を組織しました。日頃の地域活動で培ったチームワークを発揮し、会場設営の計画から当日の受付・進行に至るまで、生徒たちの手によって円滑に執り行われました。

当日は総勢150名を超える参加者を迎え、以下の活動を通じて活発な交流が図られました。

＊活動報告：11校のIACが、それぞれの地域に根ざした奉仕活動やその理念について発表いたしました。

＊国際理解：海外派遣学生や米山奨学

生による体験報告を実施。現地での交流を通じた異文化理解の重要性を共有し、国際親善への意識を高める機会となりました。

本事業を通じて、学生たちは「自ら考え、行動する」というロータリーの精神を体現し、大きな自信を得ることができました。ロータリー財団の補助金は、これら青少年の自己研鑽と、国境を越えた相互理解を促進するための基盤として非常に有意義に活用されました。

今回の成功を糧に、当クラブでは3年後に控える「インターアクト地区大会」に向け、さらなる支援体制の強化と、青少年育成事業への尽力を継続していく決意を新たにいたしました。



第2630地区インターアクト協議会を終えて

インターアクト委員会 委員長 安藤 博人

2025年11月16日、三重県鈴鹿大学を会場に開催された「インターアクト三重県グループ協議会」に参加し、続いて12月7日、飛騨・中濃・東濃グループ協議会にも出席することができました。第2630地区(岐阜・三重)のインターアクト活動の一環として、これらグループごとの協議会は、年に一度の貴重な交流の場であり、多くのインターアクターが一堂に会する素晴らしい機会でした。

まず三重県グループ協議会では、鈴鹿大学のキャンパスに三重県のインターアクターが集まりました。開会式の後、行われたプログラムは他校の生徒と共同で行うテーマが多く、交流を大切にしたいコンセプトを感じることができ、大変感動いたしました。普段の学校活動ではなかなか体験できない内容に、皆が目を輝かせ、真剣に耳を傾けていました。特にグループワークでは、他校のインターアクターと協力して国際理解のアイデアを出し合い、互いの取り組みを共有できたことが印象的です。異なる学校の仲間と意見を交わすことで、新たな視点を得られ、自分たちのクラブ活動に活かせるヒントがたくさん生まれました。

活動報告

次に12月7日の飛騨・中濃・東濃グループ協議会は、遠方より多くの生徒・顧問のほか、スポンサーロータリークラブの皆様も参加され、温かい雰囲気の中で行われました。地域ごとの特色を活かした発表が多く、例えば地域清掃や高齢者支援、国際理解促進などの具体的な活動報告が続きました。ディスカッションではクイズ形式での地元紹介は、他校の生徒といくつかのテーブルを囲みチームで考え答えるなど、交流を大切にしていると感じました。多くのテーマに熱い議論が交わされ、冬の寒さも忘れるほどの活気がありました。また高山ロータリークラブ70周年記念事業として開かれた公演演舞では、映画(国宝)の振り付け指導をした谷口祐和さんより貴重なお話と演武を頂き、インターアクト関係者のみの経験は生徒の将来にきっと良い影響となると確信いたしました。地区全体で33校程のインターアクトクラブが存在する中、こうしたグループ単位の集まりが、絆を深め、モチベーションを高めてくれることを実感しました。

両協議会を通じて強く感じたのは、インターアクトが単なる奉仕活動の場ではなく、青少年がリーダーシップを養い、互いに成長し合う「学びの場」であるということです。異なる地域・学校の仲間と出会い、意見を交換することで視野が広がり、より良い奉仕へとつながっていきます。これからも「Service Above Self」の精神を胸に、日常の小さな行動から大きな変化を生み出せるよう努めたいと思います。

ご指導くださった顧問の先生方、スポンサークラブのロータリアンの皆様、そして一緒に活動してくれたすべてのインターアクターの皆様に、心より感謝申し上げます。これからも第2630地区インターアクト一同、力を合わせて地域と世界に貢献していきましょう。

2025-26年度D・E・I推進セミナー

D・E・I推進小委員会委員長 野原 佳子(岐阜淡墨RC)

去る11/24(月・祝) グランヴェール岐山にて「2025-26年度 D・E・I推進セミナー」を開催いたしました。地区内よりクラブの会長、幹事、会員増強委員長、女性会員110名が出席されました。1部ではNPO法人 岐阜ダルク 河合正氏をお迎えして「私は恥じていた」というテーマで講演を頂きました。柔らかな雰囲気と優しい語り口の反面、内容ご自身の実体験をもとに話されました。参加者の皆さんが傾聴している姿が印象的で、そのお話は深く考えさせられるものでした。

また、休憩後は岐阜保護観察所 木下裕志所長、保護司として多治見リバーサイドロータリークラブ 箕浦浩久氏をお迎えして「受け入れる側」としてお話を頂きました。木下所長様は保護観察所所長という仕事の中で加害者家族に目を向け寄り添う事に心を向けられている、というお話を頂きました。確かに私たちは当事者(被害者・加害者)ばかりに気持ちがいきその周りにいるご家族の事、どう過ごされているのかまでは考えが及ばない事に気づかせて頂きました。箕浦様にも保護司としてどのような心構えで向かわれているか、そしてご苦労についてロータリアンとしての観点も含めお話を頂きました。



また、玉野DG・河合GE・岐阜ダルク河合様・木下所長様・箕浦氏・道家氏(岐阜加納RC・保護司)の6名にご登壇頂き「私たちの周りにある多様性を — その“ちがひ”をどう受け止める? — 」というテーマでパネルディスカッションを行いました。内容的にはっきりと答えが出るような質問ではないこともあり、皆さまに回答に悩ませてしまう場面もありましたが、それぞれの立場、置かれた環境、過ごされてきた過去の出来事などを含め様々なエピソードをお話し頂きました。

今回のセミナーを開催し、今私たちの周りには当たり前にも多様性に溢れています。気づかないうちに受け入れていたり、そっと距離を置いたり、目を瞑ったり、考えずに行動しています。自分とは少し違うかもと感じた相手にも、存在を否定するのではなく寛容の精神で受け止めて頂ければと考えます。ロータリアンは以前から「DEI」を行ってきました。改めてロータリアンの精神の根底にあるものを思い出して頂きたいのです。「DEI」は皆さまの心に問いかける言葉だと思います。

引き続きクラブの活性化に繋がるよう「DEI」についてご理解頂けるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願い致します。

ポリオ根絶募金活動

ポリオプラス小委員会副委員長 故金 正司(岐阜中RC)

皆さんこんにちは、色々ご心配をおかけ致しておりましたが昨年11月28日福岡東南RCにてゴールすることが出来ました。又、地区大会ではステージに上げて頂き中間報告が出来ましたこと玉野ガバナーに御礼申し上げます。昨年の事退職後何か社会に役立つボランティアは無いかと思いついたのが得意なバイクに乗って日本一周、全国のロータリークラブにメーキャップで例会訪問をさせて頂き、目的はポリオ根絶のための募金活動と啓発活動でした。

スタート初日は昨年4月14日東京麹町クラブへの例会訪問でした。このクラブには田中さん、峰さんのポリオワクチン投与の先駆者がおみえになり1980年にインド、フィリピンへ経口ワクチン投与の実行部



隊として活動されました。これを機にRIは1985年にポリオプラスの活動が世界中で始まりました。

クラブ訪問ではバナー交換、3分間スピーチ、バイクを囲んでの記念写真が例会での私のメニューでした。3分間スピーチではパキスタンのカラチ地方ではインフラ整備の立ち遅れ、清潔な水の不足など感染症を予防するための清潔な環境整備がされていない現状を説明。そのため経口ワクチンによる免疫を子供達につけてあげることが感染予防になるという事をお話いたしました。

移動手段も高速道路、フェリー、航空機などの乗り継ぎも学習できました。日本地図を広げ訪問地区にマーカーを入れる楽しみも覚えめました。240日、18,000Kmメーキャップによるクラブ訪問は94カ所の楽しみと達成感、何よりロータリーメンバーとの交流の素晴らしさは躊躇する壁もなくロータリーの友情の素晴らしさを実感することが出来ました。

今後は日本全国そして我が地区への体験を提供することにより募金活動が更に大きく進展する事を望み日本一周募金活動の報告と致します。そして一日も早いポリオ根絶を世界中のロータリアンと共有し世界中の子供達にポリオ根絶をプレゼント、そしてお祝いを致しましょう。もうすぐその

日がやってきます。ロータリーを学び行動することが出来ました!! これもひとえに全国のロータリアンの皆様、ガバナー、パストガバナー、事務局、バイク仲間の皆様のお陰です、ありがとうございました。

追伸

クラブ訪問での出来事、一般市民の方々からの募金内容、楽しかったロータリアンとの交流など第2弾として投稿できればと思っています。

1月10日は4回目のパキスタンにてポリオワクチン投与活動に入ります。

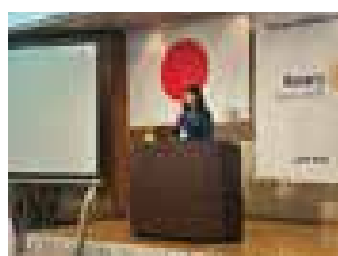


次期AG・CCセミナー

次期地区代表幹事 豊田 典義 (大垣中RC)

去る2025年11月16日(日)、名鉄グランドホテルにて次期地区ガバナー補佐・地区委員会委員長対象ラーニングセミナーを開催しました。次年度の地区運営を支えるリーダーが一堂に会し、地区方針の理解と役割確認を目的に実務的な研修を行いました。

冒頭、ガバナーエレクトより次年度のテーマと重点施策が示され、クラブ支援の基本姿勢として「対話を基点とした伴走型サポート」が強調されました。続く役割別セッションでは、AGにはクラブ訪問時の着眼点、CCには委員会運営



活動報告



と情報共有のポイントが解説され、参加者は実務に直結する内容として熱心に耳を傾けていました。

本年度より取り入れられたグループディスカッションでは、「クラブ課題の早期把握」「若手会員の活動参加促進」「地区との連携強化」などをテーマに活発な交流が行われ、他分区の取り組みも共有されるなど、次年度に向けた具体的なヒントが多く得られました。

参加者からは「役割の理解が深まり安心した」「他分区の実践を学べ有意義だった」といった前向きな声が寄せられ、地区リーダーとしての自覚と意欲が高まるセミナーとなりました。

本セミナーで得られた学びとネットワークを礎に、次年度もクラブの活性化と地区全体の発展に向け、より良い支援体制を構築してまいります。



四日市ロータリークラブ創立90周年記念式典・祝賀会

四日市ロータリークラブ 会長 藤原 和彦(四日市RC)
創立90周年記念実行委員長 伊藤 重和(四日市RC)

12月11日(木)、都ホテル四日市において、創立90周年記念式典・祝賀会を開催いたしました。当日は当クラブ名誉会員でもある森智広四日市市長をはじめ、スポンサークラブである名古屋ロータリークラブ天野会長、玉野ガバナー、三谷ガバナー補佐、桑名ロータリークラブ・鈴鹿ロータリークラブ・四日市グループ内の各クラブより会長様ほか、多くの関係者の皆様にご出席いただき、盛大に開催することができました。また祝賀会では会員のご家族にもご同席いただき、和やかな雰囲気の中で進行いたしました。



当クラブは、1935年12月14日に設立され、以来90年間にわたり「超我の奉仕」の精神を掲げ、地域社会の発展と世界平和のために尽力してまいりました。先輩諸氏の献身的な努力によって今日のクラブの礎が築かれたことに、改めて深い敬意と感謝の意を表します。



創立90周年記念事業として、四日市市へ移動図書館車「くじら号」を寄贈しました。ラッピングデザインは四日市ローターアクトクラブが担当しております。移動図書館車は図書館へ足を運ぶことが難しい方々に本との出会いを届ける「走る図書館」として、子どもたちを中心に地域の皆様に読書の楽しみと学びの機会を提供するものです。本は知識を広げ、想像力を育み、時には人生を変える力を持っています。ページをめくるたびに新しい世界が広

がり、心が豊かになることでしょう。この移動図書館車がそんな「小さな奇跡」を運ぶ存在となることを会員一同、心より願っております。

もう一つの記念事業として、米山記念奨学会へ90周年を記念した特別寄付をさせていただきました。

90周年という節目は、過去を振り返ると同時に未来を見据える機会でもあります。私たちはこれからも、地域社会に根ざしつつ国際的な視野を持ち、平和と理解を広げる活動に取り組んでまいります。そして、「奉仕の理想」を次の世代へと確実に引き継ぎ、100周年、さらにはその先の未来へと歩みを進めてまいります。



河合伸泰ガバナーエレクト壮行会

地区代表幹事 安田 健三(桑名北RC)

去る12月6日土曜日、名鉄グランドホテルにおきまして河合ガバナーエレクトが2026年1月11日から15日まで米国フロリダ州オーランドで開催される国際協議会出席に向けて、地区役員70余名による「河合伸泰ガバナーエレクト壮行会」が盛大に開催されました。

壮行会では玉野ガバナーから河合ガバナーエレクトへ“しゃがれた声”で(笑)熱いエールの挨拶をいただき、地区からの餞金贈呈が行われました。河合ガバナーエレクトからは来季へ向けた強い決意・抱負の挨拶をいただきました。また同パートナーからもご挨拶を頂戴いたしました。

亀井直前ガバナーの乾杯で懇親会が始まり、豊田次期代表幹事の大変素敵なピアノ演奏もご披露頂き、和気あいあいと懇親会が進みました。篠原パストガバナーの素晴らしい中締めでとても楽しい懇親会が終了いたしました。河合ガバナーエレクトの今後の益々のご活躍が楽しみです。



2026
2/13

バレンタインコンサート出演者



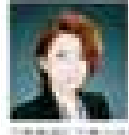
高橋 智子 (タカハシ トモコ) 地区代表幹事
地区代表幹事、音楽、バレエの分野で、多くの活動を行っています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。



高橋 智子 (タカハシ トモコ) 地区代表幹事
地区代表幹事、音楽、バレエの分野で、多くの活動を行っています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。



高橋 智子 (タカハシ トモコ) 地区代表幹事
地区代表幹事、音楽、バレエの分野で、多くの活動を行っています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。



高橋 智子 (タカハシ トモコ) 地区代表幹事
地区代表幹事、音楽、バレエの分野で、多くの活動を行っています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。

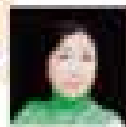


高橋 智子 (タカハシ トモコ) 地区代表幹事
地区代表幹事、音楽、バレエの分野で、多くの活動を行っています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。

出演者プロフィール



高橋 智子 (タカハシ トモコ) 地区代表幹事
地区代表幹事、音楽、バレエの分野で、多くの活動を行っています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。



高橋 智子 (タカハシ トモコ) 地区代表幹事
地区代表幹事、音楽、バレエの分野で、多くの活動を行っています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。



高橋 智子 (タカハシ トモコ) 地区代表幹事
地区代表幹事、音楽、バレエの分野で、多くの活動を行っています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。



高橋 智子 (タカハシ トモコ) 地区代表幹事
地区代表幹事、音楽、バレエの分野で、多くの活動を行っています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。



高橋 智子 (タカハシ トモコ) 地区代表幹事
地区代表幹事、音楽、バレエの分野で、多くの活動を行っています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。また、地域の文化活動に積極的に参加し、多くのイベントで活躍しています。

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			期首	女性	月末	月末女性	増	減
岐阜A	岐 阜	3	81	1	82	1	2	1
	岐 阜 西	3	40	0	40	0	1	1
	岐 阜 長 良 川	3	36	0	36	2	3	3
	岐 阜 北	3	27	2	29	3	2	0
	岐 阜 中	3	22	1	22	1	0	0
	グループ計		206	4	209	7	8	5
岐阜B	岐 阜 南	3	87	10	88	10	2	1
	岐 阜 東	2	42	2	43	3	2	1
	岐阜 東 南	3	30	3	26	2	0	4
	岐阜 加 納	3	74	2	71	2	0	3
	岐 阜 エ ト ス	3	12	3	15	3	3	0
	岐 阜 城	4	19	1	18	1	0	1
	グループ計		264	21	261	21	7	10
岐阜西濃	大 垣	4	88	3	89	3	5	4
	大 垣 西	3	83	1	86	1	4	1
	本 巢	3	21	1	21	2	1	1
	羽 島	4	35	3	35	3	0	0
	不 破	3	20	1	20	1	0	0
	大 垣 中	3	59	3	55	3	0	4
	大垣センチュリー	3	53	4	54	4	1	0
	岐阜 淡 墨	3	16	2	16	2	0	0
	岐阜サンリバー	3	17	4	17	4	0	0
	グループ計		392	22	393	23	11	10
岐阜東濃	多 治 見	3	57	4	58	4	1	0
	中 津 川	2	70	4	70	4	1	1
	瑞 浪	3	60	1	62	1	4	2
	恵 那	3	51	4	52	4	3	2
	土 岐	3	38	3	39	3	1	0
	多 治 見 西	3	35	2	37	3	2	0
	中津川センター	3	58	2	59	2	2	1
	多治見リバーサイド	4	55	3	53	3	0	2
	グループ計		424	23	430	24	14	8
東海北陸道	美 濃	3	21	0	21	0	0	0
	各 務 原	2	39	5	41	5	3	1
	関	3	41	2	41	2	2	2
	郡上八幡	3	38	2	37	2	0	1
	関 中 央	2	27	0	27	0	0	0
	郡上長良川	3	29	5	30	6	1	0
	グループ計		195	14	197	15	6	4
濃 飛	高 山	3	32	0	34	0	2	0
	下 呂	3	33	3	35	4	2	0
	高 山 西	3	38	2	40	2	2	0
	美濃加茂	3	42	5	43	5	1	0
	可 児	3	42	1	40	1	1	3
	高山中央	3	52	2	56	2	4	0
	グループ計		239	13	248	14	12	3
	岐阜合計		1,720	97	1,738	104	58	40
	地区合計(74)		3,018	216	3,036	225	96	78

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			期首	女性	月末	月末女性	増	減
桑 名	桑 名	3	33	1	33	1	1	1
	桑 名 西	3	28	2	29	3	1	0
	桑 名 中 央	3	29	3	26	3	0	3
	桑 名 北	3	31	7	29	6	0	2
	グループ計		121	13	117	13	2	6
四 日 市	四 日 市	3	88	3	92	4	6	2
	四 日 市 北	4	21	4	20	4	1	2
	四 日 市 西	3	74	6	75	6	2	1
	四 日 市 南	3	27	4	26	4	0	1
	四 日 市 東	2	32	0	29	0	1	4
	グループ計		242	17	242	18	10	10
鈴 鹿・亀 山	鈴 鹿	3	63	7	63	7	1	1
	鈴 鹿 西	3	25	5	23	4	0	2
	鈴 鹿 ベ イ	2	6	0	6	0	0	0
	亀 山	4	10	1	10	1	0	0
	鈴 鹿 シ テ ィ	3	68	3	62	3	0	6
	グループ計		172	16	164	15	1	9
中 勢・伊 賀	津	3	62	1	68	1	7	1
	上 野	4	38	4	38	4	0	0
	名 張	4	42	2	40	2	0	2
	津 南	3	45	2	47	2	3	1
	津 北	3	53	4	55	4	2	0
	上 野 東	3	36	3	37	3	1	0
	久 居	3	26	4	28	6	2	0
松 阪・東 紀 州	名 張 中 央	2	19	2	19	2	0	0
	グループ計		321	22	332	24	15	4
	松 阪	4	75	0	75	0	0	0
	松 阪 東	4	68	14	69	13	3	2
	熊 野	3	32	4	31	4	0	1
	尾 鷲	4	12	2	12	2	0	0
	松 阪 山 桜	3	31	3	30	2	0	1
	グループ計		218	23	217	21	3	4
伊 勢・鳥 羽・志 摩	伊 勢	3	47	0	48	0	1	0
	鳥 羽	3	28	3	29	3	1	0
	伊 勢 南	4	37	4	35	4	0	2
	志 摩	3	42	12	45	13	3	0
	伊 勢 中 央	3	46	0	43	0	0	3
	伊 勢 度 会	3	17	6	18	6	1	0
	グループ計		217	25	218	26	6	5
	三 重 合 計		1,291	116	1,290	117	37	38

みえぎふEテラス	4	7	3	8	4	1	0
----------	---	---	---	---	---	---	---

2024年12月(前年度)会員数報告							
	期首	女性	月末	月末女性	増	減	
三重県合計(33)	1,314	112	1,345	117	61	30	
岐阜県合計(40)	1,731	95	1,771	100	80	40	
地 区 合 計(73)	3,045	207	3,116	217	141	70	

受章

新会員

四日市南RC



松村 武彦

旭日双光章受賞

郡上長良川RC



寺田 澄男

社会福祉法人
全国社会福祉協議会
社会福祉事業功労者

岐阜北RC



太田 恭子

2025.12.3入会
生命保険

四日市RC



大澤 岳夫

2025.12.4入会
観光事業

※1月号で掲載いたしました寺田澄男様のクラブ名に誤りがありました。お詫びすると共に再掲載させていただきました。

新会員

四日市西RC



芦田 歩

2025.12.5入会
証券業

津南RC



窪田 浩久

2025.12.16入会
税理士

松阪東RC



川口 正人

2025.12.1入会
商工会議所

伊勢度会RC



大西 要一

2025.12.3入会
市議会議員

逝去会員

岐阜城RC



藏満 三男(73)

2003.7.2入会
2025.12.4逝去

2014～2015年度
クラブ会長



謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。

津RC



志田 行弘(78)

2008.9.3入会
2025.12.27逝去

2024～2025年度
クラブ会長



